

# トランプ国会 寡黙な首相

## 首脳会談控え 米へ刺激避けたい本音



衆院予算委員会に質問する民進党の辻元清美元国土交通副大臣(左)と、基本的質疑に臨む安倍晋三首相(右)＝1日午後、衆院第1委員会(いずれも斎藤良雄撮影)

「トランプ政権の貿易経済政策についてはさまざまな発言があるが、また関係人事が進んでいるので、確固たる見方があるわけだ」と、安倍首相は1日の衆院予算委員会(以下答弁し、トランプ氏が日米貿易交渉などを盛んに批判していること)の評語を避けた。

トランプ氏によるイスラーム圏7カ国からの入国を禁止する大統領令署名に関し、また一内政事項でありコメントすることは差し控えたというとして言及せず。「移が判然としないう入国禁

トランプ米新政権の対応に関する安倍晋三首相の答弁の歯切れの悪さが、国会内の論戦で目立っている。トランプ大統領との10日の日米首脳会談を前に無用な刺激は避けたいという思惑も感じられる。対する野党も具体的な「対トランプ戦略」には一切触れず、議論は構造的に欠けている。

(水内茂幸、松本学)

## 「対米、経済と安保分けて」強調

### 衆院予算委員会の基本的質疑

た。通商交渉の際、米国が対日防衛義務を盾に譲歩を迫ってくる可能性に警戒感を示した格好だ。また、「米国の雇用はどう貢献していくか、大統領が示すインフラ整備に日本がどの協力を

できるかも含め大きな枠組みの中でしっかりと話をしたい」と述べ、雇用増やインフラ整備への協力策を協議する考えを示し、日本企業米米産業界への貢献を説明する意図も明らかにした。

止の大統領令に関しては、移民政策をとっていない日本が意見を述べたいという事情もある。公明党の石田祝啓副委員長は10日の記者会見で

「直接考えを話した方がいい」と思っているのではないかと。会うチャンスがあるから、そこで日本の立場も説明したいのだと思う」と首相の心中を察してみせ

一方、野党は安倍首相の姿勢に対し、「ノーコメントは思考停止(民進党の野田佳彦幹事長、など)と批判を強めている。民進党の国対幹部もこう指摘する。「トランプ氏に関する場中審議は確実にある。10日以降、何が出てくるか」

## TPP

## 2国

民進党はトランプ米大統領の保護主義的な通商政策をめぐり、明確な対策を示せず、自由貿易を推進する立場を示しながら、昨年の臨時国会で環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)の承認に反対し、トランプ氏が求める日米2国間の自由貿易協定にも否定的な見解を示す。国会での政府追及に迫力が欠けているのは、野党側に具体案が乏しいこと。因に、10日の日米首脳会談では相

## 対案なき民進

手の上に乗る。トランプ氏が閣内提案したら留保保留(「はい」)民進党の大井啓一1日の衆院予算委員会答弁首相に「相が昨年TPPを進めたこと」氏からTPPに「られる可能性」首相は「民進

### ●議院有識者会議の議事概要公表

政府は1日、安倍晋三首相の私的諮問機関「天皇の公務の負担軽減等に関する有識者会議」の第9回会合(1月23日開催)の議事概要を首相官邸ホームページで公表した。論点整理をまとめるにあたり、会議のメンバーの「制度のみ単体として考えるのではなく、国民との関わりの中での天皇制を考えるべきだ」といった世論を重視する意見が目立った。

### ●参院改革協議会 7年ぶり設置で合意

参院の伊達忠一議長と与野党8会派の代表者が1日、国会内で会談し、議長が諮問機関「参院改革協議会」を7年ぶりに設置することで合意した。「一票の格差」は正のための選挙制度改革が主な議題となる見通し。近く議院運営委員会で正式に設置を決める。

### ●自民、無所属議員の部会出席 限定的容認

自民党は1日、国会で統一国会を組む無所属議員の部会出席を限定的に容認する見解を示した。